

鈴鹿市地産地消推進協議会議事概要

1. 日 時 令和3年11月12日（金）16時～17時

2. 場 所 鈴鹿市役所 7階 702 ミーティングルーム

3. 出席委員

鈴鹿市生活学校	会長	渥美 恭子
東京農業大学国際食料情報学部		
国際バイオビジネス学科	教授	内山 智裕（リモート）
株式会社北勢青果商連合	代表取締役社長	大泉 守
鈴鹿市農業委員会	委員	近藤 啓子
鈴鹿市PTA連合会 調査広報部	副部長	須小 浩美
Agri ロマン鈴鹿	会長	豊田 栄美子
鈴鹿市食生活改善推進協議会	副会長	濱口 好子
鈴鹿農業協同組合	常務理事	林 直樹
鈴鹿商工会議所 飲食部会	議員	森下 晃

4. 出席オブザーバー

三重県四日市農林事務所鈴鹿普及課	副参事兼課長	長谷川 治基
鈴鹿市産業振興部	部長	樋口 幸人

5. 事務局 農林水産課 北川課長，農政G 東郷 GL，岡，水谷

6. 傍聴者 なし

7. 配付資料 鈴鹿市地産地消推進協議会事項書
鈴鹿市地産地消推進協議会委員名簿
座席表
鈴鹿市地産地消推進ロゴマークの結果報告（資料1）
地産地消ポスターについて（資料2）

8. 協議会の内容

- ・委員12名中9名出席 ⇒ 会議成立
- ・会議の公開
- ・議事録署名人の氏名 ⇒ 近藤委員，豊田委員

9. 内容

(1) 鈴鹿市地産地消推進ロゴマークの結果報告

(事務局)

鈴鹿市地産地消推進ロゴマークについて、審査基準に基づいて委員に審査をしていただいた結果、1番のデザインに決定した。

ロゴマークの最終確定のため、デザインをした飯野高校の生徒に大きくデザインの変更をしないことを前提に次のとおり微調整を依頼した。①海の表現を分かりやすく追加、②「すずか産」の文字の大きさや書体の変更、③色合いの変更、④ロゴマーク名称の追加。微調整後11月末にデザインサンプルが提出されるため、確認の上、デザインを確定する。

(内山会長)

協議会としてロゴマークを承認するのか。

(事務局)

今回は審査結果の報告。確認していただき、質問等があれば伺う。

(内山会長)

作った側、選んだ側が全く意図していなかったことが、第三者からすると問題ではないかと、後から指摘されることもある。万が一そういったことがあれば協議していく。

(林委員)

工業製品については表現されているのか。

(事務局)

農林水産物の地産地消をイメージして作成していただいた。

(須小委員)

審査基準に「大きさは30cm～1cm程度」とあるが、1cmだと小さくてわからないのではないか。名称の文字が入ったときに小さいサイズで利用できるのか。

(事務局)

30cmはポスターを、1cmは名刺等を想定している。印刷して確認したところ認識できた。ロゴマークのシルエットで鈴鹿市の地産地消推進をイメージできるようPRしていきたい。

(豊田委員)

ロゴマークのシールを野菜等に貼付けると、商工会議所の鈴鹿ブランドのマークと間違えないか。

(事務局)

本市地産地消推進ロゴマークとして認識できるよう発信していく。

(大泉委員)

どういった時に使われるのか。農協が認めたものに、生産者が自ら貼るのか。

(事務局)

最初は行政の啓発で使用していく。生産物への貼付けは次のステップとなる。

(2) 鈴鹿市地産地消推進ロゴマークの利用について

(事務局)

ロゴマークは今後、広報すずか、鈴鹿市ホームページ、農林水産課が発信するユーチューブのサムネイル等で使用するほか、イベントにおいてポスターやノボリの掲示、パネル展示など、地産地消の取組みの周知、啓発に利用する予定である。まずは、地産地消推進のロゴマークということを知知していただくよう発信していく。

その先には、生産者や事業者にも商品のポップや店舗での掲示等幅広く利用していただきたい。利用方法等に関する基準は今後事務局で定めていく。

(林委員)

鈴鹿市ではこのような取組みを進めているというシンボルマークなのか。「すずか産を食べよう」などのメッセージがあるほうがわかりやすいのではないか。

(事務局)

鈴鹿市では地産地消推進条例を制定し、行政、消費者、事業者のそれぞれの役割を明確にし一緒に推進していく。啓発等が行政の主な役割となっており、その中でロゴマークを作成することとした。地産地消推進計画の中にも「すずか産」とあるが、この4文字とシルエットを見て「すずか産」を食べようかとなれば望ましい。

ノボリ等にはロゴマークだけでなく、「すずか産を食べよう」のようなメッセージとマークをセットで活用していく。良い言葉があれば、提案していただきたい。

(森下委員)

イベントを開催することがあるが、その際にノボリ、ポスター、チラシ等で啓発することができる。

(事務局)

ノボリ等は今後作成する予定となっているため、イベント等で活用していただきたい。

(内山会長)

使用のアイデアが出ているが、今後の展開の参考になるため提案していただきたい。

(豊田委員)

地産地消レシピ集の次回印刷の際に入れていきたい。予算についてもお願いしたい。

(事務局)

団体への活動費補助を活用していただきたい。また、すべて市で準備できるものではないため、それぞれの取組みの中で取り入れていただきたいと考えている。積極的にお考えいただいたところからどんどん取り入れて進めていただきたい。ノボリ等の共通資材については市で準備する。

(須小委員)

小中学校の学校給食の献立表に、現在鈴鹿のものが使われているときにはキャラクターのベルディが印刷されている。このロゴマークを使ったらいいのではないか。

(事務局)

教育部局と積極的に調整していく。

(豊田委員)

シールは作っていくのか。シールは農家を買うのか。

(事務局)

安心食材表示制度のシールは自分で購入すると認識している。現在、シール作成の予定はなく、まずは周知を行うが、今後の課題とする。

(森下委員)

スケジュールはどのようになっているか。イベントのタイミングがあればノボリ等を掲示したい。

(事務局)

今月末に飯野高校から最終のデザインの提示があり次第決定とする。年内にはプレス発表、年明けをめどに職員の名刺、広報、ユーチューブなどから徐々に活用していく。

(内山会長)

原則、色々な方に使用していただきたいが、想定されないような使い方も危惧される。まずは周知を図っていくという段階であるが、みなさんに使っていただくという時には使用ルールが必要であると感じた。

(3) その他

(事務局)

夏休み期間中に市立小中学校の児童・生徒を対象に募集をした地産地消ポスターについて9点の作品が提出された。提出された作品から、小学生低学年の部、高学年の部、中学生の部、それぞれ市長賞、議長賞、鈴鹿農協組合長賞、鈴鹿漁協組合長賞を選定した。

本日、たくさんの貴重な意見をいただき、注意すべき点も認識できた。今後ロゴマークの使用ルールを作成し、また、本日いただいた意見を参考に各事業を推進していく。委員においても、それぞれの立場で、引き続き、地産地消の推進にお力添えをいただきたい。